

ミャンマー選挙は「23年8月」、国軍トップ言及 スーチー氏排除か

ヤンゴン=福山亜希 2021年12月24日 19時00分



モスクワで6月23日、国際安全保障に関する会議に出席したミャンマーのミンアウンフライン国軍最高司令官=ロイター



ミャンマー 国営紙は24日、ミンアウンフライン国軍最高司令官が2023年8月に総選挙を実施すると述べたと報じた。今年2月にクーデターを起こし、実権を握った国軍はこれまで、23年8月までに総選挙を実施するとしていたが、具体的な実施時期は明言していなかった。

国営紙によると、ミンアウンフライン氏は最大都市ヤンゴンで23日、国軍幹部らを前に演説し、「23年8月に複数政党による民主的な総選挙を実施するよう、できる限りの努力をしている」と述べた。ただ、「国の平和と安定に応じて」実施するとの条件もつけており、治安の悪化などを理由に先延ばしする可能性もある。

ミャンマーでは、アウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟（NLD）が20年11月の総選挙で圧勝したものの、国軍は不正があったと主張してクーデターを決行。国軍は将来的に総選挙をやり直すとしていた。

ただ、国軍は次の総選挙にスーチー氏らNLD幹部を参加させない方針とみられる。スーチー氏は10件以上の罪で訴追され、一部の罪について今月6日、禁錮刑の有罪判決を言い渡された。裁判は続いており、最近は囚人服姿を着て出廷するようになった。国軍報道官によると、スーチー氏は刑務所には送られず、軟禁生活が続いているという。

国軍統制下の選挙管理委員会 は5月、NLDを解党する方針も表明。国軍系の政党が議席を得やすくするため、現在の小選挙区制 から 比例代表制 への選挙制度の変更に進んでいる。（ヤンゴン=福山亜希）

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.